

平成30年度 決算の概要

『資金収支』について

(資金収支計算書参照)

収入の部では、学生生徒納付金収入、付随事業・収益事業収入、受取利息・配当金収入以外の各項目において予算額を上回る収入となった。補助金については、施設関係の補助金の取得が増収の要因となっている。前受金収入については、納付金関連の前受金増による増収となっている。

資金収入の総計としては、約11,892,995千円となっており、学生生徒等納付金収入から雑収入までの収入合計で見ても、予算額に比べ約148,069千円の収入増となった。

支出の部では、人件費支出、教育研究経費支出、管理経費においては予算を下回ることとなった。人件費については、教員(非常勤含む)、職員のその他手当実績となっている。教育研究経費・管理経費については、実施事業の見直しによる経費の抑制等、全体的に支出を抑えた結果となった。奨学金(対象者減)、修理修繕費、福利厚生費が特に大きく予算を下回っている。

施設・設備関係支出においては、土地購入、記念館天井改修工事、大学情報システム更改事業、高校黒板プロジェクト設置工事等が行われている。なお、資産運用支出については、収入、支出の両建て及び利金の組入れに伴い増額となっている。

その結果、単年度資金収支において、約171,649千円の収入超過となった。

『事業活動収支』について

(事業活動収支計算書参照)

教育活動収支においては、予算額に比べ収入で約75,881千円の増、支出で約94,854千円の減となっており、収支は約604,418千円(予算比:約170,735千円の増)となっている。支出の部では、基本的に資金収支同様であるが、減価償却額において施設設備新規取得に伴って、教育研究経費と管理経費に差異が発生している。

教育活動外収支においては、その他の受取利息・配当金の減収により、収支は約38,676千円(予算比:約821千円の減)となっている。

特別収支においては、予算額に比べ収入で約75,603千円の増、支出で約13,104千円の増となっており、収支は約90,059千円(予算比:約62,499千円の増)となっている。

その結果、経常収支差額では、約643,094千円(予算比:約169,914千円の増)、基本金組入前当年度収支差額は、約733,154千円(予算比:約282,413千円の増)となった。

基本金組入額は、当期の除却等で基本金対象資産の減少があるものの、土地購入、記念館天井改修工事等の増加があったため、約540,540千円の組入を行っている。

当年度収支差額については、約192,613千円(予算比:約277,736千円)の収支改善となった。

翌年度繰越収支差額については、約△1,632,822千円となった。

『貸借対照表』について

(固定資産明細書・借入金明細書・基本金明細書参照)

資産の部においては、約702,419千円の増となった。固定資産の有形固定資産の部では、土地の取得、学内LANサーバ機、電話交換機一式が計上されている。特定資産については、資産運用方針に基づき組入が行われている。その他の固定資産では、有価証券の償還により減となっている。

負債の部においては、借入金返済に伴い約30,734千円の減となった。なお、負債額の総資産に占める割合は、7.6%となり、前年度に比べ0.4%減少した。

基本金については、本年度第1号基本金に約440,040千円、第2号基本金に100,000千円の組入れを行い増加となった。

翌年度繰越収支差額は、約193,113千円増加することとなった。